入場無料
事前申し込み不要
（オンライン参加の場合は必要）

シンポジウム

法廷の裏側 Part2
―裁判員裁判が始まるまで―



2026
11/21（土） 14:00-17:30

昨年度、「法廷の裏側―裁判員裁判における評議・評議室」と題したシンポジウムで、裁判官・裁判員が評議室でどのように過ごしているか、実際の評議がどのように進められているのかを明らかにしました。そのシンポジウムの最後で、「『法廷』の前後の『裏側』もある」という問題提起がありました。

今回のテーマは、この問題提起を受けたものです。公判に至る前には、現在課題とされている公判前整理手続を含めて様々な準備が行われています。この準備に関しても、一般にはあまり知られていません。

本シンポジウムでは、法曹三者が公判に至るまでどのような準備をしているのか、裁判員は、どのような準備をして公判に臨んでいるのか、裁判員の目から見て、どのような準備が望まれるのかなどを明らかにしてみたいと思います。

プログラム

第Ⅰ部　逮捕、起訴から裁判員裁判までの流れ
登壇者：法曹関係者
（裁判官、検察官、弁護士）

第２部　パネルディスカッション
「公判前の準備と裁判員裁判」
パネリスト：裁判員経験者、法曹関係者
コーディネーター：飯 考行（専修大学）

弘前大学人文社会科学部４階多目的ホール
（文京キャンパス内）
（Zoom によるオンライン同時配信を行います。）

※会場にお越しになる場合、事前の申し込みは不要です。
オンライン参加を希望される方は、下記“問い合わせ先”まで
メールで「お名前」「ご所属」「連絡先メールアドレス」を
お知らせください。追って Zoom 会議 URL をお知らせします。

国立大学法人 弘前大学

弘前大学特定プロジェクト教育研究センター
地域未来創生センター
Innovative Regional Research Center

主催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部・平野 潔
tel & fax：0172-39-3199　e-mail：k-hirano@hirosaki-u.ac.jp